

呉東ロータリークラブ

<プロジェクト名>

心肺蘇生技法の社会的普及とアガデミア地区および近隣の人々の心臓因による突然死を防ぐプロジェクト

<プロジェクト実施の背景>

当クラブは、本年度は「つなごう未来へ！ 奉仕を通して」というクラブテーマを掲げ、地域のために社会のために何かできることはないだろうかということに常に考えてきました。その結果、命を未来につなぐためのプロジェクトにたどり着きました。近年、AED はたいへん普及しており、街中や公共施設などでよく見かけますが、いざという時にどれだけの人が躊躇なく使え、また救急車が到着するまでにやれるべきことができるのかとなるといささか疑問です。そこで、当クラブでは、AEDを寄贈するだけでなく、とっさのときにAEDが使える心肺蘇生ができる人材を育て、拡めていくことに主眼をおきました。

<プロジェクトの概要>

2016年11月7日(月)、呉工業高等専門学校にAEDを寄贈するとともに、同校体育館にて、地域社会に心肺蘇生技法を習得した人材育成の重要性を訴えかけていくために、同校生徒および近隣の人々に、心肺蘇生技法を身につける実践的な訓練講習を受けてもらいました(呉消防署に指導依頼)。なお、寄贈したAEDは、同校の正門守衛所付近に備え付け、長距離走の練習やジョギング等で付近を利用している近隣の人々に不測の事態が発生した時に、AEDを用いた迅速な救急救命ができるようにしました。

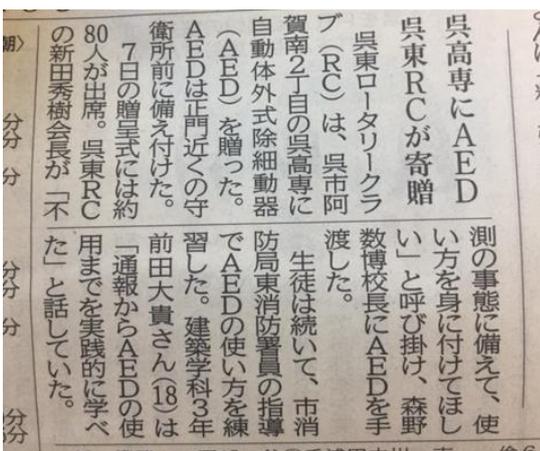
<プロジェクトの資金>

総額 306,331 円のうち、150,000 円は地区補助金を充て、残りの 156,331 円は、**KENYAKU 運動**資金から負担しました。KENYAKU 運動は当クラブ独自の運動であり、会員それぞれが自動車等に乗る代わりに歩く等して節約し、その節約ぶんをクラブに寄付するものです。

2016年11月7日 AED 贈呈式および心肺蘇生技法講習の様子



2016年11月8日中国新聞に掲載



呉高専正門脇の守衛室にAEDを設置

